

KYOTAMBA TOWN

京丹波

議会だより

第49号

[平成 28 年 7 月 15 日]

発行 京都府京丹波町議会

6月定例会

2P 補正予算、条例の改正
ロケ地誘致に向けての改修補助金など

4P 一般質問に11人
ウディパルわちの支援など

15P 追跡調査 旧和知第二小学校跡地の整備を

16P 人(ひと) 山内佳織^{かおり}さん(須知区)

エアコンが設置され 快適な教室



京丹波町

議会ホームページアクセス件数
995,295件(H28.7.4現在)前号より1,837件増



ロケ地誘致に活用が期待される加工施設の 改修補助金など2668万円を追加補正



加工施設に改修予定の民家(安井地内)

28年 第2回 定例会
は、6月3日から17日ま
で開催されました。

一般会計補正予算な
ど6件が提出され、全
議案を可決・承認しま
した。

一般質問には11人が
立ち、38項目について執
行部の所見をただしま
した。

なお、本定例会には、
延べ17人の方が傍聴さ
れました。

主な質疑・討論

一般会計補正予算

今回の補正予算は、
2668万2千円を増
額し、予算総額を11
5億4738万2千円
とするもの。

主なものは、「農事組
合法人 京丹波ほたるの
里」が実施する加工施
設の改修整備への補助
金として560万円、地

域資源活用推進事業と
して、家畜ふん尿による
メタン発酵施設の導入
可能性調査委託料など
で408万6千円を計
上するもの。

〔全員賛成〕

問 地域資源活用推進
費として、家畜ふん尿メ
タンガス発酵の可能性
調査が実施されるが、
イメージされる施設の
規模は。

課長 今後、家畜ふん
尿の発生量や飼育頭数
に加え、地域の状況など
を調査し進めていく。

問 ほたるの里の施設
は、ロケ弁当など新た
な加工食品を開発する
ために必要な整備との
説明を受けたが、個人
の所有物件を改修する
のではなく賃貸契約を
締結するなど、整理を
しておく必要はないか。

課長 現在、所有者と
法人間で賃貸契約が進
められており、早期に締
結されるものと聞いてい
る。

問 森の学びのモデル
事業としての葛西紀明
氏の講演計画は、全町の
小中学生を対象にして
は、また、講演の内容は。

次長 会場が和知小学
校体育館であり、450
人と制限がある。モデル
校の和知小学校を中心
に会場を設定した。

葛西氏が下川町出身
であり、離れているふる
さとに対する思いをお
話いただけるよう調整
している。

問 須知高校への交付
金は英語検定への補助
であるが、合格者に全額
または半額補助などの
合格支援に充てていく
のか。

課長 英語検定に関す
る支援は準2級以上で、
前年度実績43人相当の
受検料20万円と定めて
いる。

今回の支援について
は、須知高校全体の学力
向上などを期待するも
の。今後は、町と協議会
で検討していく。

条例の改正

税条例等の一部改正

〔専決処分〕

再生可能エネルギー
発電設備に係る地方税
法の改正などに伴い、所
要の改正を行うもの。

〔全員承認〕

問 太陽光発電施設の
課税件数と確認方法
は。

課長 27年末で52件
あった。課税は申告に
より実地調査を行い、
確認している。

固定資産評価審査委 員会条例等の一部改正

〔専決処分〕

行政不服審査法の施
行に伴い、引用条項の表
現について整理を行う
など所要の改正を行う
もの。

〔全員承認〕

国民健康保険税条例 の一部改正

〔専決処分〕

国民健康保険税の賦

契約

地域熱供給システム 整備工事請負契約

課区分のうち、医療給付費分に係る課税限度額を52万円から54万円に、後期高齢者支援金を17万円から19万円にそれぞれ引き上げるもの。

また、低所得者の国民健康保険税の負担軽減を図るため、5割軽減及び2割軽減の対象となる世帯の軽減判定所得基準の見直しを行うもの。

〔賛成12 反対2〕
問 中間所得者への今後の見直しは。

〔課長〕 中間所得者層への負担軽減として、賦課限度額が3年連続引き上げられた。今後同程度の改正が見込まれる。

〔反対討論〕坂本美智代 議員
所得が伸びない状況で被保険者間の負担軽減策を図る改正では解しない。国の負担率をもとの50%にすべき。

に両施設の利用量に応じて負担いただく。

問 長老苑に設置の空調機器、配管、電気設備工事を全額町費で施工する経緯は。

〔課長〕 熱供給システムモデル事業として協議するなかで、町が設置、管理するものである。

問 他の福祉施設についても、同様の考えか。

〔課長〕 今回はモデル事業として実施するもの。単独導入や地域での導入が考えられ、状況に応じて検討する。

問 全て町費で工事、維持管理をするということであるが、年間の維持管理費用は。

〔課長〕 年間の費用は、ランニングコストを100万円から200万円と見込んでいる。これに加え、今後チップの供給体制を検討するなかで、チップの費用が出てくる。

問 使用料などの徴収は発生するのか。

〔課長〕 チップ代を基本

問 間伐材確保の見直しを持つているのか。

〔課長〕 国の事業を活用し、森林組合を中心に各地域において経営計画を樹立され、間伐事業とともに作業道を整備いただいている。

問 わちエンジンまでの配管距離が往復で900メートルとなっているが、エネルギーロスが生じないのか。

〔課長〕 100メートルで0.1度が標準的な冷め具合と聞いている。

温度差によりチップボイラーの燃焼を制御するような仕組みがとられている。

反対討論 山田 均 議員

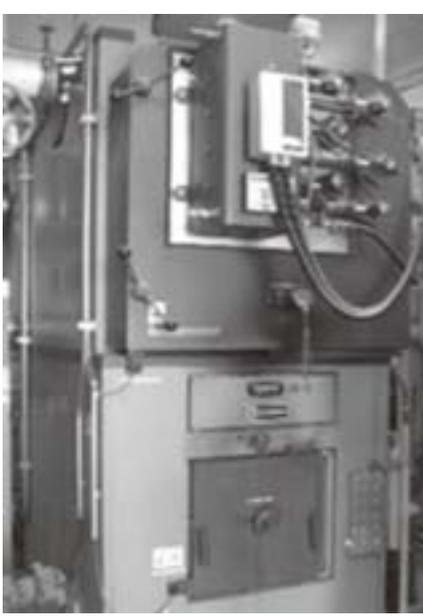
2億4700万円の税金を投入する事業で、維持管理費などが示せない皆さんの計画では納得できない。

賛成討論 梅原 好範 議員

既決された事業の工事請負契約について、慎重に進められた経過を認め、必要な事業の進捗を強く求め賛成。

賛成討論 北尾 潤 議員

東日本大震災以降、再生可能エネルギーの活用が求められるなか、本町の森林資源の有効利用を評価し、賛成。



チップボイラー(イメージ写真)

各議員の賛否

平成28年6月定例会
賛否の分かれた議案のみの表示です。ほかの議案については、全員賛成しました。

審議結果	議員名	坂本美智代	東まさ子	森田幸子	篠塚信太郎	山田均	山内武夫	山下靖夫	原田寿賀美	山崎裕一	村山良夫	岩田恵一	北尾潤	梅原好範	鈴木利明	松村篤郎
可	国民健康保険税条例の一部改正	×	欠	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
可	地域熱供給システム整備工事請負契約	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議長は採決には加わらない。○は賛成、×は反対、欠は欠席

一般質問 **ココが聞きたい**

地域で守る「ウッディパルわち」の維持に必要な支援を



梅原 好範 議員

町長 頑張っている地域を全面的に支援する



全区民が参加し20周年を祝う「ウッディパルわち」(下栗野地内)

問 本町では地域支援をまちづくりの基軸として取り組んでおり、地域支援担当職員との協働のもとで、地域を守る積極的な活動が各地域にしっかりと根付き継続されている。

今年度に運用開始後20年を迎えた「ウッディパルわち」では、地元・下栗野区のみならず、今日まで維持管理がなされてきた。

管理いただく下栗野区では、経年劣化による施設の老朽化が著しく進行するなかで、苦勞しながらも安易に行政に支援を求めるだけでなく、まずは自らが汗をかきながら知恵を出し合い、継続に向けて地道な努力を続けられている。

自力のみで賄うことが困難となる施設の修繕について、まちづくり

に大きな影響を与える地域支援のあり方を問う。

町長 地域のみならずが楽しみながら、頑張っておられる活動を行政として応援したい。「ウッディパルわち」の維持管理についても、全面的に支援をしていく。

鳥インフルエンザ発生地の利活用は

問 地域に深い爪跡を残した同跡地では、施設の解体撤去と並行し、跡地の利活用についても今日までさまざまな議論がなされてきた。

今回「映画ロケ地」としての活用が計画され、長年ご迷惑をおかけしてきた周辺のみならず、心からの歓迎をしながら大きな期待を寄せている。

「映画ロケ地」活用戦略はどのように進められていくのか。

町長 今日まで当該地

区のみならず大きな負担をおかけしたが、ようやく明るい展望を提案することができた。

地元のみならず協賛しながら、地元食材を使ったロケ弁当の開発やイベントの開催など、多くの人々に夢と希望を提供できる施設となるよう協力していく。

貴重な人的財産の流出を防ぐために

問 多難を極めた10年間を乗り越えた職務経験と、実災害に対応した経験を有する職員が働き盛りの年齢で退職している。

町政を安定し継続させるために再雇用制度などを充実し、人的財産を守るべきでは。

町長 国では「再任用制度」を活用することで65歳まで継続して雇用する方針であり、本町においても再任用制度の活用により人材確保に努める。



山下 靖夫 議員

本町の 大地震対策は

町長 地域防災計画を基礎に防災訓練の実施を検討する

問 近年各地で大地震が起きています。本町にも三峠断層、殿田・神吉・越畑断層が走っているが、地震対策は。

町長 地域防災計画を基礎に大規模地震などの災害に対して、消防団を中心にした防災訓練の実施を検討するなど、「災害に強い人・もの・しくみ」づくりの具体化を図り、減災に向けた取り組みを行う。

問 災害発生時において、災害の司令塔となる庁舎の被害は、人命救助や被災者の救援活動の遅れになる。本庁舎や瑞穂、和知支所、また、傷病者を受け入れる京丹波町病院や和知診療所は耐震基準を満たしているか。

町長 京丹波町病院、和知診療所は耐震基準を満たしている。

課長 本庁舎は十分に地震に耐えられるものではない。本年度から新庁舎の建設に向けて対

応していく。瑞穂支所は大きな地震に耐えられない。和知支所は鉄骨づくりで一定の強度は保っている。

問 防災マップの改訂版が配布されると聞くが、現在のマップは避難

所で危険である箇所があると見受けられる。それらの訂正と、マップの配布時期は。

町長 29年度中に改訂版を作成する予定である。今年度、土砂災害警戒区域、特別警戒区域の指定が完了する予定。また、府において高屋川、須知川の警戒水位の見直しが行われるため、それらの内容を反映する計画である。

小・中学校の
熱中症対策は

問 気象庁は、今年ラ



和知中学校に設置のウォータークーラー

ニーヤ現象で猛暑になる可能性がある」と発表している。熱中症は高温環境のもとで水分やナトリウムなどのバランスが崩れたり、体内の調整機能が破綻するなどして発症する障害である。全国では、クラブ活動中に熱中症が多発し、救急搬送されている。小・中学校での熱中症対策は。

教育長 小・中学校では適切な水分補給ができるように、児童生徒に水筒の持参、また、学校ではお茶の用意をす

るなど対策を進めている。中学校では、運動部の生徒の体調管理にスポーツドリンクなどの使用を認めている。

また、グリーンカーテンの設置による学習環境の整備や、教職員を対象に熱中症対策の研究を実施している。

問 熱中症予防には常温水より冷水の方が効果的と言われている。学校にウォータークーラーを設置しては。

教育長 和知中学校に設置されており、総合的に検討していきたい。



須知高校バス通学生の 利便性向上を



山崎 裕二 議員

町長 JRバスと相談する必要があると考えている

問 須高生の行き帰りや松山バス停留所の発着時間に合わせ、須高着発の町営バス運行を。

町長 松山駅と須高の間はJRバスが運行しており、相談する必要があると考えている。

災害時対応の再点検を

問 町保有の非常災害用備蓄食料の食物アレルギー対応状況は。

町長 アレルギー対応

のわかめご飯が250食、アレルギー対策ミルクが96食である。

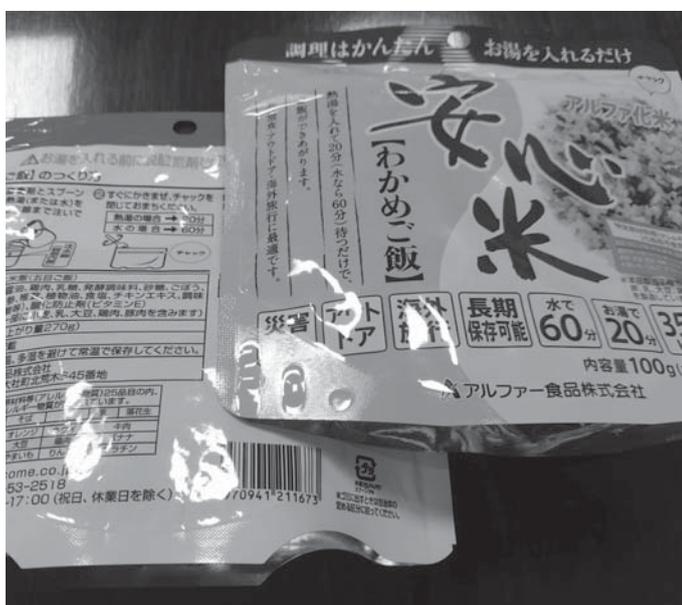
問 有事に備え、公民館などにWi-Fiの拡充を。

町長 現在、計画はない。

課長 新聞報道にあった南丹市の整備状況なども検討していきたい。

問 外国人の孤立を防ぐ防災対策強化を。

町長 国際交流協会の取り組みと並行して、



非常災害用備蓄食料

啓発などに努めていく。

問 野外防災拠点へのかまどベンチの導入を。

町長 調理場のある施設が多く、需要は低いと考えている。

XPパソコンの危険性認識を

問 サポートが終了したウィンドウズXPパソコンの更新を。

町長 全て更新したが、残る1台については、更新手続中である。

学校給食の地元食材使用率向上を

問 学校給食での地元食材の使用状況は。

教育長 米はすべて町内産を使用し、野菜は可能な限り、地元生産者、地元農協から購入する方向で進めている。

問 学校給食での地元食材使用率向上のための具体的方策は。

教育長 利用を増やし、ふるさとの食への関心を高める取り組みを

進めていく。

将来を見据えた財政運営を

問 財政調整基金取り崩し増加の理由は。

町長 普通交付税の段階的縮減や特別会計への繰出金増加による。

問 ソフト事業の一般財源から過疎債への財源振り替えの意図は。

町長 一般財源で実施した場合より、町財政にとつてのメリットが大きい。

問 後年度の財政運営への影響評価は。

町長 借り入れを増やした分、財政調整基金を積み増すなど、計画的な財政運営を行っていく必要がある。

問 町ふるさと応援寄附金基金を町育英基金に繰り出し、積立を。

町長 事業に要する費用に充てる場合に限り、処分できるとしており、町育英基金への繰り出しは難しい。



村山 良夫 議員

町民の信頼を得られる 町政に必要なことは

町長 情報公開度の向上、公正・公平な予算編成と執行に努めることである

問 公開された情報が意図的に編集されては、信頼を失うことにならないか。

町長 わかりやすくするため編集している。

問 C A T V放送は生放送が基本である。意識的にカットした事例はあるのか。

町長 C A T V放送に妥当な言葉、表現か判断し編集している。

問 発言が非常識であるとか品格に欠けるなどの判断は、町民の方がされることを指摘し、次にホームページの町長交際費情報公開度の向上の必要性を問う。

町長 適正な支出を図るために公開している。

問 町長交際費の内容の公開度は評価する。25年11月の町会議員選挙の当選者へのお祝いがある。公職選挙法などに抵触しないか検討したのか。

町長 当選祝いは選挙

活動に關しない。

問 町長の見解で良いのか、選挙管理委員長に問う。

選挙委員長職務代理者 公職選挙法などには抵触していない。

予算執行の基準は

問 当選者16人のうち10人を対象とした判断基準と、町長の主観的な判断がなかったかを問う。

町長 社会通念上の儀礼的なお祝いである。

問 当選者16人のうち10人を対象とした判断

基準を再度問う。

町長 社会通念上、儀礼的なお祝いである。

問 質問の答弁とは理解できないが、結果責任を問う意図はないので次の質問に移る。

26年第3回定例会 第60号議案について

問 「丹波地域開発株式会社への支援議案」は、町民の方の関心度も高く、議会でも長時間にわたり審議した結果、賛成8、反対7で可決された。賛成者は全員が当選祝いを受けた議員で

ある。町長の見解を問う。

財政状況と町政の信頼度について

問 今回の一般質問は、その責任を追及するのが意図でなく、今まで以上に情報公開度の向上、公平・公正な予算編成と執行の重要さを、理事者、議員が再認識することを期待したものである。今後の町財政は一段と厳しくなる。昨今の町税、国保

税、各種使用料などの未納が改善しないのは、町民の方の信頼度が一因かと懸念する。町長の見解を問う。

町長 今後もしっかりに公平・公正な行政運営に努める。



町ホームページ



現在進めている 企業誘致はあるのか



鈴木 利明 議員

町長 農業に参入する企業と協議している

問 過日、京都市内で企業誘致について協力を要請を行った。今後企業誘致の旗振り役を自認し、努力していく。現在進んでいる企業誘致案は。

町長 新しく農業に参入する企業と協議を進めている。

新庁舎の建設に向けて

問 進む庁舎の老朽化、迫り来る合併特例債の活用期限などを踏まえ、新庁舎建設について町長の所見を伺う。

町長 災害時に復興活動の拠点として、機能しないことが予想される。利用者ニーズにも合っていない。合併特例債を活用できる32年度までが最良のタイミングと考えた。

問 候補地の年内選定を進め、少しでも前倒しの完成を。

町長 早期完成を目指すし、事業の進捗に努める。

問 実務者によるワーキングチームを核とした推進や、知識集約なども進んでいるのか。

地域おこし協力隊の地元出身者雇用の

町長 管理職による検討委員会を2回、ワーキング会議を6回開催した。

問 隊員の現状は。

町長 男性3人、女性2人で合計5人である。

問 採用条件などは。

町長 18歳から40歳までの都市居住者で、任用終了後は本町に定住、起業の意欲がある方などである。処遇は本町嘱託職員に関する規程に準じている。

問 地元出身者で帰郷希望者を積極的に雇用してはどうか。

町長 町内に向けても情報発信し、Uターンが増えるよう取り組む。

京都トレーニングセンターの活用性

問 丹波自然運動公園内に完成した、京都トレーニングセンターの設備の概要は。

町長 センター棟は地上1階で、本格的なトレーニング器具が整備される。宿泊棟は地下1階地上2階で、300人が宿泊できる。

問 町民の健康増進や児童・生徒の競技力向上にどう活用するのか。

町長 地域住民の健康



新築された京都トレーニングセンター

増進事業をより発展させ、児童・生徒がスポーツに親しみ、トップアスリートを目指し活用できるように支援する。

問 「スポーツの町・ホッケーの町 京丹波」発信のチャンスでは。

町長 ホッケー競技は、東京オリンピック参加国のホストタウン登録を申請している。

教育長 グリーンランドみずほホッケー場と一体的に活用し、ホッケーの町づくりに取り組む。



森田 幸子 議員

段ボール会社と 災害協定の締結を

町長 内容など詳細を研究し検討する

問 避難所生活には段ボール製品が欠かせない。段ボール会社と災害協定の締結を。

町長 内容など詳細を研究し、検討する。

避難所の耐震調査を

問 避難所となる公共施設の耐震調査は。また、未実施の施設について、今後の考えは。

町長 避難所となる施設は、生涯学習センター・旧須知小学校・健康管理センター・畑川浄水場・山村開発センターの5カ所である。未実施は生涯学習センターと旧須知小学校であり、耐震化も含め、今後の利活用など検討する。

教育長 社会教育施設は、篠原体育館・下粟野体育館・和知ふれあいセンター・梅田振興センター・三ノ宮基幹集落センター・質美振興センターの6カ所である。今後、総合的に検討していきたい。

マンホールトイレシステムの整備を

問 避難者の安心感につながる快適なトイレ環境を早急に確保することが重要である。段差がなく、高齢者や障害者も利用しやすいマンホールトイレシステムの整備を。

課長 現在は簡易組み立てトイレでの対応を進めている。

中央公民館の改修を

問 中央公民館の耐震調査と改修を。

教育長 より大きな改修については、他の施設も含め、大きなまちづくりの中で検討されるべきもの。耐震調査は計画的に考える。

本庁と支所に「声の投稿箱」設置を

問 町民の深刻な苦情などの対応は。

課長 担当課と調整し、速やかに応じてい



多くのみなさんが利用している中央公民館

る。

問 本庁や支所などに「声の投稿箱」設置を。

町長 直接お会いして意見を聞かせていただくことが重要。設置は考えていない。

長寿・百歳祝金は満年齢時に贈呈を

問 長寿・百歳祝金は敬老の日にあわせ支給されているが、満年齢時に贈呈することで公平性が保たれる。要綱の

見直しを。

町長 改正は考えていない。

登録者に反射シールなどの配布を

問 他市では高齢者の徘徊見守り事業で登録制度が実施されている。本町でも登録者に反射シールなどの配布を。

町長 家族などの意見を聞きながら検討したい。



正職員と嘱託・臨時職員の 休暇に不合理な格差はないか



篠塚 信太郎 議員

町長 不合理な格差はないが社会情勢の変化を踏まえ見直しも必要と考える



町営バス丹波事業所(蒲生地内)

問 バス事業所、保育所、給食センターなどで、正職員と全く変わらない業務内容で働いている嘱託・臨時職員の休暇に不合理な格差はないか。

町長 職務の内容や責任の度合いが異なることから、不合理な格差はないが、社会情勢の変化などを踏まえ見直しも必要と考える。

問 嘱託職員には住居手当がない。時間外手当は支給することになっていないが、ほとんど支給されていない。支給すべきでは。

町長 制度上認められる部分は、適正に判断し対応していきたい。
問 正職員と嘱託職員との間に、賃金の不合理な格差はないか。
町長 期間の定めのある

無による勤務条件の相違は不合理なものでない。

食品ロス削減に向けた取り組みを

問 日本では年間2801万トンの食品廃棄物が発生し、そのうち642万トンが食品ロスと推計されている。学校給食などを通して、食品ロス削減の啓発を進めるべきでは。

教育長 保育所、学校で実施している給食は生きた指導教材である。食べ物の大切さ、もつたいない、命をいただいている意識を身につけることにより、家庭における食品ロスの減少効果につながるかと考える。

林業大学校及び須知高校に期日前投票所の設置を

問 選挙権年齢18歳引き下げは、公明党が昭和48年から主張してきた。高校生の投票率向

上を図るため、林業大学校及び須知高校に期日前投票所の設置を。

選管委員長 現在の期日前投票所は、十分機能していることから設置する考えはない。

丹波マークスに期日前投票所設置を

問 近年投票率が低下傾向にあり、投票率の向上を図るため、丹波マークスに期日前投票所の設置を。

選管委員長 設置する考えはないが、今後の投票率や設置している自治体の状況を参考に見極めたい。

不在者投票用紙などのオンライン請求の検討を

問 投票環境の向上に向け、不在者投票用紙などのオンライン請求の検討を。

選管委員長 公職選挙法の改正などの動向を注視したい。



坂本 美智代 議員

子どもの貧困に対する 実態把握が必要では

町長 単独調査は考えていない



バス通学する児童(上豊田保育所下)

- 問** 子どもの貧困が社会問題となっている。日本の子どもの貧困率は16.3%であり、京都市は17.2%と47都道府県で、10番目に高いというデータもある。本町においても、子どもの貧困の実態を把握するため、調査を行う考えは。
- 町長** 国・府と連携して取り組むことが重要であり、単独で実施する考えはない。
- 問** 本町の望ましい子育て支援策のニーズ調査によると、子育てにおける経済的負担軽減が55.6%と最も高い。少子化対策としても保護者の負担軽減を図るため、小・中学生の給食費無料化の考えは。
- 町長** 現在のところ、無料化の考えはない。
- 問** 病児、病後保育事業として、31年度に1カ所を整備するとしているが、具体的な検討時期は。
- 町長** 認定こども園の開設も含め、近隣市町の状況も調査し、具体的な検討を進めたい。
- 問** 子育て支援の一環と教育環境の充実を求めることから、児童生徒のバス代無料化への調査研究の結果は。
- 教育長** 引き続き調査研究をしている。
- 空き家対策への取り組み状況は**
- 問** 空き家の撤去や有効利用を促す特別措置法のもと、本町での実態把握と対策の体制整備の取り組み状況は。
- 町長** 本年度に実態調査を行う予定であり、年度内に調査結果に基づき台帳を作成したい。
- 問** 空き家を放置しないためにも、有効活用が重要である。本町では空き家情報バンク設置要綱が設置され、5年が経過した。この間の登録申し込み件数は何件か。
- 町長** 町独自に実態調査を実施し、分析することは困難である。社会保障財源の安定確保に寄与するものである。
- 課長** 累計39件中、成約は8件である。
- 空き地管理への対策強化を**
- 問** 空き地の近隣住民にとって、火災発生や雑草の繁茂により死角となることへの防犯面を危惧する声を聞く。さらなる対策強化が必要では。
- 町長** 関係機関と連携を図り、根気強く指導を重ねていく。
- 商店や事業所への消費税の影響は**
- 問** 低所得者や中小の事業所・商店にとって、消費税は重い税負担であり、不公平税制である。商店や事業所の実態調査と国へ中止を求めるとの考えは。
- 町長** 町独自に実態調査を実施し、分析することは困難である。社会保障財源の安定確保に寄与するものである。



原発ゼロ、再稼働ストップを 求めるべきでは



東 まさ子 議員

町長 国政の場で解決されるべき

問 放射性ヨウ素による甲状腺被ばくを避けるため、早期のヨウ素剤服用が不可欠である。事前配布をすべき。

町長 原子力災害対策本部の指示でUPZ圏内の住民に配布を予定している。

問 大津地裁は高浜原発3、4号機の運転差し止めの仮処分決定を行った理由に、過酷事故対策や事故発生時の避難計画の不十分さを指摘しているが見解は。

町長 避難計画の実効性を高めたい。

問 府と7市町でつくる地域協議会で、原子力発電所の安全性やエネルギー政策について、関西電力や国に説明を求めていきたいとの行政報告があった。原発ゼロ、再稼働ストップを求めるべきでは。

町長 エネルギー政策全般の問題であり、国政の場において、安全保障、環境、経済など複合

的に議論し、解決されるべきと考える。

災害に対し万全を

問 熊本地震では、耐震補強された学校施設が壊れた。また、天井や照明器具、外壁など「非構造部材」の地震対策が終わっていないため、避難所として使用できなかった。本町の状況は。

次長 学校関係の耐震補強は終わっており、非構造部材についても耐震補強工事の入札執行中である。

問 琴滝下流には民家があり、縦貫道も通っている。上流のため池の安全性はどうか。

課長 府の調査により、8カ所を防災重点ため池と指定している。琴滝上流のため池は豪雨には対応できるが、地震には対応できるが、地震に對しては若干厳しく判定された。啓発とともに、整備については国の情報をもとに地元と調



京都縦貫自動車道(院内トンネル付近)

整を図りたい。

縦貫道の騒音対策を

問 縦貫道の騒音被害を訴える住民からの陳情書を議会が趣旨採択し、町長と府の道路公社へ送付したが、その後の経過は。

町長 測定結果が基準値以下である以上、防音壁設置は難しいと公社から聞いている。何らかの対策が取れないか、引き続き研究したい。

後期高齢者医療の保険料負担は

問 国は、低所得者などの「特例軽減」の廃止を決め、29年度から段階的に実施しようとしている。廃止の影響は。また、国・府の支援は。

課長 9割軽減の方は3倍、8.5割軽減の方は2倍に、被扶養者の方は2倍になるが、相互扶助の趣旨に理解を求めたい。



北尾 潤 議員

本町にとって 須知高校の存在価値は

町長 まちづくりや人材育成になくてはならない教育機関である



本町で支えていく須知高校

問 本町小・中学校教育の先に府立須知高校があるということが自然なことになるように、町教育行政と須知高校の連携をどのように考えているか。

教育長 須知高校と町内小・中学校との連携は、相互の学びあいにより、有益なものであるとして進めてきた。具体的な連携事例としては、「環境食育パ-

トナー事業」、須知高校の教員による町内中学校への出前授業、食品科学科の生徒による小学校での食品加工体験活動、幼稚園・保育所の園児のサツマイモの栽培体験活動などがある。保育所・幼稚園・小学校・須知高校との連携により、地元の子どもたちにとって須知高校への親しみ、憧れを抱く契機になることを期待

している。

避難所の安全確保を

問 避難所は非構造部材も含めて安全性が確保されているか。

町長 非構造部材については、十分な安全が確保されているとは言えない。

しかし、震災だけを考えると耐震化の問題で使えなくなる可能性があるが、豪雨災害など地震以外のあらゆる災害を考慮しており、町内に避難所としての施設が多くあるわけではないので、耐震化ができていない施設についても、その時々状況に応じて活用していく。

連携協定の取り組みは

問 トレーニングセンターについて、府立丹波自然運動公園協力会と本町教育委員会が結んだ連携協定の目的は。

教育長 年齢を問わず町内のスポーツにかか

わる多くの方々を対象にした体力、競技力の向上、またジュニアアスリートの育成など、本町の目指す人づくり、まちづくりに沿った取り組みを進める。

問 具体的に予定している取り組みは。

教育長 中学校においては、町の重点種目であるホッケーを中心に、高度な指導を受けることよってどういう効果が出るのか、小学校においては、陸上競技、特に駅伝などについて同様に指導を受けることによる効果の実証・検証を行いたい。

また、体育協会、スポーツ少年団の活動においても同センターの講師による研修を受けたり合宿も計画するなど、幅広く高度なトレーニング指導やスポーツ栄養学などの機能も有しているため、スポーツに対する意識や意欲の向上を目指したい。



丹波地域開発(株)の経営方針を 作成する義務があるのでは



山田 均 議員

町長 指針策定の考えはない



丹波地域開発(株)への町の経営方針策定が待たれる

問 丹波地域開発(株)への6億700万円の公的支援は、土地の買い戻しと経営支援として実施された。町民に経営状況などを詳細に報告する責任があると考えますが、また、未収金の回収状況はどうか。

副町長 議員全員協議会で決算報告書など関係書類を提示し、意見を聞いているので町民への説明はできている。未収金の回収には一層努力したい。

問 公的資金を投入した町には総務省通達に基づき、経営方針を作成する責任と義務があると考えますが。

副町長 独自の指針を策定する考えはない。

**TPPによる
影響を調査し対策を**

問 環太平洋経済連携協定(TPP)が批准された場合の農林水産物の影響を府は発表している。本町でも生産額の影響調査を実施し、対

策の検討が必要では。

町長 本町でも影響があると考えるので、関係機関と連携し、支援策を検討していきたい。

地域ごとの取り組みを

問 大規模農家では、米価の低迷でコメ作りの面積を大幅に減らす動きがあり、返却された農地は荒廃を待つしかない状況である。

地域ごとの課題や対策を明らかにして取り組みが必要があるが、対策や取り組みは。

町長 地域の課題を明らかにできる京力農場プランの策定に向けて、働きかけを進めていく。

認証制度で付加価値を

問 農産物の栽培指針を町技術者会で作成し、生産者を支援すること。栽培指針の基準をクリアした農産物に認証制度などで付加価値をつけ独自性を出す。この取り組みを進め

ていくべきであると考えるが。

町長 町独自の認証制度がどのように付加価値をつけることができるか、技術者会で研究したい。

猟友会の権限は

問 獣害対策は町の最重要課題であり、防護柵設置費用の地元負担軽減に、もっと取り組むべきである。

捕獲事業は猟友会に委託しているが、報奨金の対象になるのかを判断する権限まで委託しているのか。

町長 委託契約以外の権限は委譲していない。

平和への取り組みは

問 「戦争は二度としない」は、共通の願いである。平和への取り組みはどうか。

町長 非核・平和を広く啓発するため、取り組みを検討したい。

議会での議論がその後どうなっているのか、町民のみなさんの疑問に答える企画です。

あれから どないなっとるんや〜?

問 旧和知第二小学校跡地に
屋根付き多目的施設の整備を。

町長 27年度に実施設計を行い、
28年度に事業着工する。

問 地元企業との連携強化と組織化
を目指すべき。

町長 「産業ネットワーク組織」を設
立し、企業との連携を図る。



こうなった!

既に施設の実施設計が完了しており、今年
度の着工に向け準備が進められている。



地元では隣接する芝生グラウンドの維持に
精を出しながら、完成の日を心待ちにされて
いる。

こうなった!

新事業の創出や人材育成、雇用促進などを
目指す「京丹波町産業ネットワーク」を昨年
11月に発足させた。



町産業ネットワーク発足会の様子。多くの
町内業者が参加され、神戸国際大・中村智彦
教授の記念講演が行われた。



楽しい時間を

なるべく長く続けられたら 良いなと思っています

須知区在住

山内佳織さん(85歳)



今回は、「とても素敵なおばあちゃんがいっぱいやるので住民登場のコーナーで取り上げていただけないでしょうか。」というお手紙をいただいたので、紹介します。

今回登場の山内さんは、第二火曜日と第四土曜日に中央公民館で活動する「百人一首の会」のメンバーです。同会まとめ役の、松本草子さんからご紹介いただきました。



山内佳織さん

「百人一首の句をたくさん暗記していらっしやるそうです。興味を持たれたきっかけは、

若いころ源氏物語など読んで、「昔の人はどんなことを考えていたのかな。」と思いをはせることが好きでした。百人一首は20歳くらいからお正月に遊んでいたことがきっかけです。

「好きな句はありますか。」

「淡路島」で始まる源兼昌や「いれやこの」で始まる蟬丸の句は、誰にも取らせません(笑)

「百人一首をしていって、いついつ時が楽しいですか。」

「やっぱり素早く取れた時が快感です(笑)。でも、なかなか取れない日も楽しい。みんな良い仲間やしね。」

「ひかり小学校では、祖父母参観体験学習のお手伝いをされていますね。」

はい。子どもが一生懸命に札を取り合う様子や、元気にしゃんけんをしている様子は微笑ましいです。先生が「上の句が聞こえないから」と、注意して最初は静かでもすぐ騒がしくなります(笑)。私はゲームには参加せずに、札を間違つて取らないかを見守る役なんです。条件反射で思わず手が出してしまう時もあるんです(笑)。

絵やコースなど多趣味な山内さんですが、最後に、文を書くことも好きな山内さんの優しいさや前向きな、ロマンチックさも伝わってくる自作の詩を紹介いたします。

「百人一首の会」

心やさしい 友集い
かるた取ったり 取られたり
それでも楽し 時すぎて行く
次の出合いを 待ちわびる

心ゆたかな この仲間
悠久ロマンの 恋のうた
古人を しのびつつああ
集いまどかに 続けよう

(記者 北尾)

議会の傍聴に お越しください

今回の議会日程は次のとおりです。

9月定例会

9月1日(木)
午前9時から

編集後記

京丹波の里も鮮やかな緑一色となりました。田畑では風水害もなく豊作の収穫時期を迎えられるよう期待し、農地や作物の管理に努められていることと思います。

依然と低迷を続ける林業については町内の木材を使用し、林業振興を目指した取り組みも着々と進められており、その都度、紙面を通じてお知らせしてまいります。

本紙は年4回の発行となりますが、議会運営や町行政の推進について親しみのある、愛される紙面づくりに委員一丸となつて努めてまいりますので、さらなるご指導、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

(原田)